

令和3年6月30日（水）  
国土交通省 関東地方整備局  
甲府河川国道事務所

## 記者発表資料

### 山梨大学と連携して『地図等を用いた 災害教訓の“見える化”』に取り組みます ～流域治水プロジェクトの具体施策を始動！～

甲府河川国道事務所は、国立大学法人山梨大学 地域防災・マネジメント研究センターと連携し、地図等を用いて災害教訓を“見える化”する取り組みを開始します。

過去の自然災害に係る事柄が記された「自然災害伝承碑<sup>(※)</sup>」の情報を地理院地図<sup>(※)</sup>に掲載することで災害教訓を“見える化”します。

“見える化”した過去の自然災害情報や教訓を防災教育へ活用することで、地域住民の防災意識の向上や的確な防災行動による被害の軽減を目指します。

なお、本取り組みは「富士川水系流域治水プロジェクト」に位置付けられた施策であり『地図等を用いた災害教訓の見える化』の具体的プロジェクトの一つです。

富士川水系流域治水プロジェクト

<https://www.ktr.mlit.go.jp/koufu/koufu00992.html>

※注釈（国土地理院HPより）

自然災害伝承碑：過去に発生した津波・洪水・火山災害・土砂災害等の自然災害に係る事柄（災害の様相や被害の状況など）が記載されている石碑やモニュメント

地理院地図：国土地理院が整備する地図や主題図、年代別の空中写真など、様々な情報をWeb上で重ね合わせて見ることができる電子地図

[https://www.gsi.go.jp/bousaichiri/bousaichiri190619\\_00002.html](https://www.gsi.go.jp/bousaichiri/bousaichiri190619_00002.html)

#### 発表記者クラブ

竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会、山梨県政記者クラブ、静岡県政記者クラブ

#### 問い合わせ先

国土交通省 関東地方整備局 甲府河川国道事務所

電話：055-252-5491（代表）

工事品質管理官 坂本 守（さかもと まもる）

防災課長 坂本 鋼三（さかもと こうそう）

■ 対策事例 【富士川流域治水プロジェクト:市町村(、国土交通省、県)】

『地図等を用いた災害教訓の“見える化”』

- 3.被害の軽減、早期復旧・復興のための充実  
 (3)避難体制等の強化  
 ⑤住民の主体的な避難行動につながるための平時の取組

■ 対策の概要

- ・過去に発生した津波、洪水、火山災害、土砂災害等の自然災害に係る事柄(災害の模様や被害の状況など)が記載されている石碑やモニュメントである「自然災害伝承碑」の情報を、地形図等に掲載することで、災害教訓を“見える化”する取組を国土地理院において実施中。
- ・富士川流域における自然災害伝承碑の情報を登録し、地図を通じて過去の自然災害の教訓を防災教育に活用することで、地域住民の防災意識の向上が図られ、的確な防災行動による被害の軽減を目指す。

＜自然災害伝承碑の登録事例(山梨県韭崎市)＞



碑名	水難供養塔
災害名	昭和34年台風7号(1959年8月14日)
建立年	1961
伝承内容	昭和34年(1959)8月14日の台風7号により、釜無川の堤防が決壊、祖母石地区は土砂と流木による濁流に襲われ、家の1階をすっぽり水に埋めた。濁流はそのまま一ツ谷地区に流れ込んだ。碑には亡くなった16名の御名前が刻まれている。

＜過去の災害情報を知る機会作り、災害履歴を学ぶ防災教育素材、講習会等で防災意識向上となる起因等を期待＞

<p>学校における学習教材</p> <p>身近な災害履歴を学ぶための学習教材として、小中学校で活用いただく。</p> <p>地理教育や防災教育への貢献</p>	<p>地域探訪の目標物</p> <p>歩こう会などの探訪コースを設定する際の目標物とすることで、参加者が地域を歩きながら自然と過去の災害情報に触れる機会を創出する。</p> <p>防災に対する関心を高めるきっかけ</p>	<p>防災地図の素材</p> <p>自然災害伝承碑の情報などを素材とした防災地図を、児童生徒が現地調査を交えながら作成する。</p> <p>児童生徒やそのまわりの大人の防災意識向上</p>
---	--	--

＜出展＞国土交通省 関東地方整備局 甲府河川国道事務所 「流域治水プロジェクト」

[https://www.ktr.mlit.go.jp/ktr\\_content/content/000800357.pdf](https://www.ktr.mlit.go.jp/ktr_content/content/000800357.pdf)



山梨大学大学院総合研究部（工学域）

## 地域防災・マネジメント研究センター

Disaster and Environmentally Sustainable administration REsearch center, University of Yamanashi

プレス発表資料

2021年6月30日

国立大学法人 山梨大学

### 令和3年度連携事業計画：

#### 自然災害伝承碑の情報整備と防災教育への展開（新規）

##### 【事業の概要】

東日本大震災以降、過去の災害の教訓を活かし、伝えることの重要性が広く認識されるようになってきている。こうした状況を受けて、国土地理院は、令和元年6月19日に「先人が伝える災害の教訓『自然災害伝承碑』を地図で発信」を発表し、災害伝承碑の情報整備に取り組んでいる（令和3年3月3日時点で公開数は47都道府県257市区町村で861基）。しかしながら、山梨県においては、令和3年6月2日現在で19基に留まっており、さらなる伝承碑の情報整備が求められている。そこで本事業では、山梨県における自然災害伝承碑のさらなる充実を図り、整備した伝承碑の情報の活用法の1つとして、防災教育への展開を検討することを目的とする。

##### 【役割分担】

- (1) 山梨大学：自然災害伝承碑の情報分析、防災教育への展開の検討
- (2) 甲府河川国道事務所：自然災害伝承碑の情報整備、防災教育への展開の検討

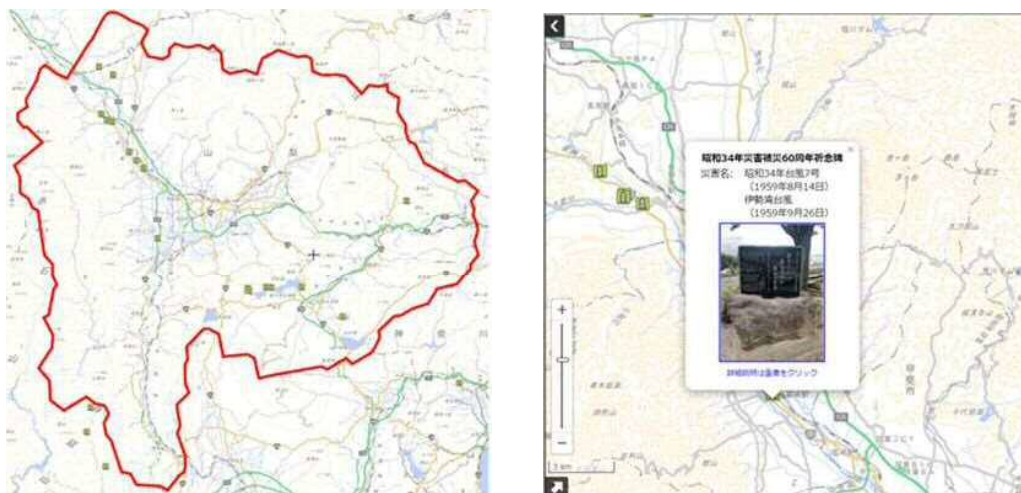


図 山梨県における自然災害伝承碑とその例（出典：地理院地図）